

# 図書館だより 11月号

2023.11.27(月)  
松本深志高等学校図書館

気がつけば2023年も残りわずかに。冬の気配がだんだん濃くなり、朝がづらくなってきましたね。1・2年生は探究の進捗具合はどうでしょうか。行き詰まっているときはネットをさまようよりも書店や図書館で棚の間をブラブラはいかが？まとめのヒントや、ヒラメキが訪れるかも。

## <図書館ゼミを行います 地図のある学校>

地図を用いて松本と深志高校周辺の変遷を考えよう>

11/27(月) 16:00~17:00 (1時間位) 講師：校長先生

モニタリングとして寄贈された地形図と松本市の近代地図を活用したゼミです。地図から読み取れる大正から平成にかけての松本市と深志高校について語っていただきます。地域のことを探究したい人、深志高校について知りたい人、ご参加お待ちしております。

途中入退場、自由です。ちょっと聞いていきませんか？

## <地形図のある学校図書館の創設モニタリング校になりました>

高校地理が必修科目になったことで地形図利用を活性化、広めようと日本地図センターと地図協会による実行委員会が全国の学校図書館にその地域の地形図等を整備するためのプロジェクトを立ち上げました。まずは全国約70校がモニタリング校となり、当該県の20万分/5万分/2万5千分/1万分の1の地勢図、地形図および当該校地区の年代別地形図、上空航空写真地セットが届けられました。石川校長先生のご縁で深志高校に声がかかりました。長野県は接する県域分の面積が広く、届いた地図は4ファイルもあります。現在、国の基本図はデジタル化が進み電子国土基本図へ移行され、2万5千分の1地図以外は新期更新が止まったため、紙の地形図では地域によっては平成大合併前の市町村名のまま！のところもあります(梓川村、豊科町など)。そのため同じ地域の縮尺の違う地図を見比べてみると変化していることがたくさんあります。大正から平成にかけて深志高校周辺も大きく変化しています。校長先生講演は予定が合わないという人も地形図を見てみませんか。自宅周辺など興味深いかも。授業利用等にも活用できます。図書館へどうぞ。松本家具机上に並べています。